

# 2017年度 当新社研 研究の全体構造図

石社研の研究課題

2014・2015年度  
当新社研研究の成果・課題

## 研究主題

社会的事象を公正に判断し、  
社会と主体的にかかわる力を育む学びの創造  
～社会科授業のユニバーサルデザイン化を通して～

## めざす子どもの姿

社会的事象を公正に判断し、社会と主体的にかかわろうとする子ども

## 研究仮説

授業をユニバーサルデザイン化することにより、社会的事象を公正に判断し、社会と主体的にかかわろうとする子を育成することができる。

### 研究内容 1

#### 単元構成の ユニバーサルデザイン

1. 地域素材の教材化
2. 授業の焦点化  
(シンプル)
  - ①知識の構造化
  - ②問いの構造化
  - ③課題のスモールステップ化

### 研究内容 2

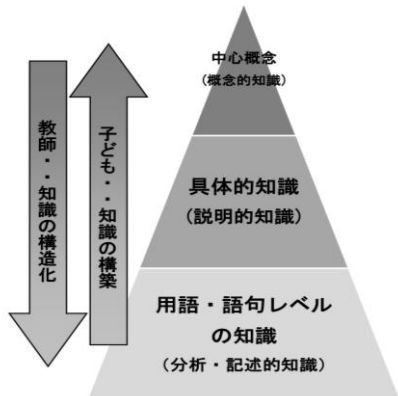
#### 授業展開の ユニバーサルデザイン

1. 発問の具体化、スモールステップ化
2. 授業の視覚化  
(ビジュアル化)
3. 授業の共有化  
(シェア)
4. 再考と発信

### 研究内容 3

#### 子ども一人ひとりが 伸びを実感できる評価

1. めざす子どもの姿の本時レベルでの明確化と、それに基づく教師の的確な賞賛
2. 相互評価場面の設定



明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。

明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。	明治政府は、西洋の文化を取り入れながら、近代的な国家を旨として政治や社会の新たな国づくりを進めた。それは当別の地においても同様であった。
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<2016年度の実践より>

(文責 澤口 敏之)